2026 年度秋学期　統計学　第５回演習の解答例

1. 平均 $= \dfrac{\text{データの合計}}{\text{データサイズ}} = (35+45+50+55+60+60+60+70+75+90)/10 = 60$ (点) となる。
   また，分散 $=$ ((数値) $-$ (データの平均))^{2}の平均 $=$
   $\{(35-60)^2+(45-60)^2+(50-60)^2+(55-60)^2+(60-60)^2$
   $+(60-60)^2+(60-60)^2+(70-60)^2+(75-60)^2+(90-60)^2\}/10 = 220$（点^2）であり，
   標準偏差 $= \sqrt{220} = 14.8$ (点) となる。

2. 得点 75 点を標準得点に変換すると，$(75-60)/14.8 = 1.011$ となる。これをさらに偏差値に変換すると $10 \times 1.011 + 50 = 60.1$（点）となる。

3. 偏差値 65 点とは,「平均値よりも標準偏差の 1.5 倍多い点数」を意味している。よって，$60+14.8 \times 1.5 = 82.2$（点）となる。